

参考資料

河川

河川管理施設数と流量・水質測定箇所数 ※…揚水機場合む ()…暫定

河川名	管理延長(km)	堰	水門	樋門	排水機場	※流量観測箇所	水質測定箇所
常願寺川水系	21.5	0	0	0	0	3	3
神通川水系	48.1	1	2	8	0	6	8

河川名	管理延長(km)	堰	水門	樋門	排水機場	※流量観測箇所	水質測定箇所
庄川水系	26.1	0	0	4	1	3	3
小矢部川水系	37.4	1	0	27	1	6	6

常願寺川

常願寺川は、北アルプスの北ノ俣岳(標高2,661m)を水源として、わずか56kmで日本海へ流れ出るという我が国屈指の急流河川です。そのため上流部の非常にもろい地盤条件と相まって、上流から流れ出す土砂の量が非常に多いという特徴があり、下流部においては川底が兩岸の土地より高いという天井川を形成しています。また、急流による堤防破壊防止のため、いたるところに「水制」が見られるのも特徴のひとつです。



水源地及標高	富山県富山市(北ノ俣岳 標高 2,661m)		
流域面積	368km ²		
幹川流路延長	56km		
想定氾濫面積	150km ²		
大臣管理区間	21.5km		
計画流量	瓶岩地点	基本高水流量	4,600m ³ /s
		計画高水流量	4,600m ³ /s
既往著名出水量	瓶岩地点	大正3年8月12日	約3,000m ³ /s
		昭和27年7月1日	約2,200m ³ /s
		昭和44年8月11日	約3,970m ³ /s
		平成10年8月11日	約1,700m ³ /s
計画高水位勾配	下流1/477~1/399	中流1/142~1/76	上流1/68~1/59

神通川

神通川は、岐阜県の川上岳(標高1,626m)を水源として、飛騨地方から富山県の中央部を通って日本海へそそぐ長さ約120kmの一級河川です。上流部が日本有数の多雨地帯であるため、古くから度々洪水を引き起こしてきました。現在、富山市を中心とする氾濫域は、富山県の社会、経済、文化の中枢を担っているため、水害対策はもろんのこと、親しみのある快適な河川空間の創造が期待されています。



水源地及標高	岐阜県高山市(川上岳 標高 1,626m)		
流域面積	2,720km ²		
幹川流路延長	120km		
想定氾濫面積	123km ²		
大臣管理区間	本川125.2km	西派川12.4km	支川井田川14.8km
	支川熊野川15.7km		
計画流量	神通大橋地点	基本高水流量	9,700m ³ /s
		計画高水流量	7,700m ³ /s
既往著名出水量	神通大橋地点	昭和33年7月26日	約3,900m ³ /s
		昭和36年6月27日	約3,600m ³ /s
		昭和47年7月13日	約4,100m ³ /s
		昭和58年9月28日	約5,700m ³ /s
		平成10年4月15日	約2,950m ³ /s
計画高水位勾配	本川	下流1/1,198~1/812	中流1/537~1/230
		上流1/190~1/187	
	支川井田川	下流1/1,229~1/353	中流1/231~1/120
	支川熊野川	上流1/420~1/190	

庄川

庄川は、岐阜県の烏帽子岳(標高1,625m)と、山中山の山中峠(標高1,375m)を水源として、飛騨山地から数々の支川を併せて富山県に入り、砺波市、高岡市、射水市を経て、日本海へそそぐ長さ約115kmの一級河川です。流域には砺波平野が広がり、越中米やチューリップなど、多くの特産物を生み出しています。しかし、この恵みある流れも、ひとたび洪水になると多くの被害を流域にもたらします。現在、人々の暮らしを守る堤防や護岸の整備がすすめられています。



水源地及標高	岐阜県高山市(烏帽子岳 標高 1,625m、山中峠 標高 1,375m)		
流域面積	1,189km ²		
幹川流路延長	115km		
浸水想定区域面積	234km ²		
大臣管理区間	26.1km		
計画流量	雄神地点	基本高水流量	6,500m ³ /s
		計画高水流量	5,800m ³ /s
既往著名出水量	小牧地点	昭和9年7月11日	約3,400m ³ /s
	大門地点	昭和34年9月27日	約1,900m ³ /s
		昭和51年9月11日	約2,700m ³ /s
		昭和58年9月28日	約1,700m ³ /s
		平成16年10月21日	約3,400m ³ /s
計画高水位勾配	下流1/1,045~1/723	中流1/437~1/202	上流1/192~1/147

小矢部川

小矢部川は、富山県の大門山(標高1,572m)を水源とし、小矢部市、高岡市を経て、日本海へそそぐ長さ約68kmの一級河川です。急勾配の河川の多い富山県においては、比較的緩やかな川ですが、かつて庄川の支川として合流していたころは、庄川の出水のたびに逆流が生じ、河口付近では伏木富山港を中心に、大きな被害が起っていました。そこで行なわれた大正元年(1912年)の庄川との分離以来、被害は減少し、地域発展の礎となっています。



水源地及標高	富山県南砺市(大門山 標高 1,572m)		
流域面積	667km ²		
幹川流路延長	68km		
想定氾濫面積	65km ²		
大臣管理区間	本川135.4km		
	支川浪江川12.0km		
計画流量	津沢地点	基本高水流量	1,600m ³ /s
		計画高水流量	1,300m ³ /s
既往著名出水量	西五位地点	昭和28年9月25日	約1,300m ³ /s
	津沢地点	昭和39年7月18日	約1,200m ³ /s
		昭和40年9月18日	約1,200m ³ /s
		平成2年9月20日	約950m ³ /s
		平成10年9月22日	約920m ³ /s
		平成10年9月22日	約1,300m ³ /s
計画高水位勾配	石動地点	平成10年9月22日	約1,300m ³ /s
	長江地点	平成10年9月22日	約1,590m ³ /s
計画高水位勾配	1/2,760~1/460		

道路

道路管理路線区間 ()はバイパスによる複線区間外書

路線名	起点及び終点	延長(km)
国道 8号	下新川郡朝日町境～石川県河北郡津幡町九折	94.4 (8.5)
国道 41号	岐阜県飛騨市神岡町谷～富山市金泉寺	34.1
国道 156号	砺波市庄川町小牧～高岡市四屋	28.6

路線名	起点及び終点	延長(km)
国道 160号	氷見市脇～高岡市四屋	26.2
国道 470号	氷見市大野～高岡市池田	15.7
事務所計		199.1 (8.4)

国道8号

入善黒部バイパス 計画の諸元

起点・終点	下新川郡入善町門山～魚津市江口	目的	交通渋滞の解消 幹線ネットワークの充実強化 沿道環境の改善
延長	16.1km (2/4供用済6.7km)		
道路の区分	3種1級	事業化年度	昭和62年度・平成2年度
設計速度	80km/h		
道路幅員	28.0m 3.5+2.0+7.0+3.0+7.0+2.0+3.5		

魚津滑川バイパス 計画の諸元

起点・終点	魚津市住吉～滑川市稲泉	目的	交通渋滞の解消 幹線ネットワークの充実強化 沿道環境の改善
延長	7.4km (2/4供用済7.4km)		
道路の区分	3種1級	事業化年度	平成元年度
設計速度	80km/h		
道路幅員	28.0m 3.5+2.0+7.0+3.0+7.0+2.0+3.5		

滑川富山バイパス 計画の諸元

起点・終点	滑川市稲泉～富山市金泉寺	目的	交通渋滞の解消 幹線ネットワークの充実強化 沿道環境の改善
延長	10.5km		
道路の区分	3種1級	事業化年度	昭和50年度
設計速度	80km/h		
道路幅員	28.0m 3.5+2.0+7.0+3.0+7.0+2.0+3.5		

豊田新屋立体化 計画の諸元

起点・終点	富山市小西～富山市粟島	目的	交通渋滞の解消 幹線ネットワークの充実強化
延長	2.9km		
道路の区分	3種1級	事業化年度	平成21年度
設計速度	80km/h		
道路幅員	高架部 19.5m 1.25+7.0+0.5+2.0+0.5+7.0+1.25 側道部 10.0m 2.3+0.1+1.5+1.5+3.25+0.75		

坂東立体化 計画の諸元

起点・終点	射水市沖塚原～射水市川口	目的	交通渋滞の解消 幹線ネットワークの充実強化
延長	1.1km		
道路の区分	3種1級	事業化年度	平成18年度
設計速度	80km/h		
道路幅員	高架部 21.0m 2.0+7.0+0.5+2.0+0.5+7.0+2.0 側道部 9.0m 2.3+5.1+1.5+3.25+0.75		

西高岡拡幅 計画の諸元

起点・終点	高岡市四屋～高岡市立野	目的	交通渋滞の解消 幹線ネットワークの充実強化 地域開発
延長	5.96km (4/4供用済5.06km)		
道路の区分	3種1級・4種1級	事業化年度	昭和52年度
設計速度	80km/h・60km/h		
道路幅員	22.0m 2.5+1.5+7.0+7.0+1.5+2.5 28.0m 3.5+2.0+7.0+3.0+7.0+2.0+3.5		



国道470号・能越自動車道(建設中 氷見市稲積)

国道470号 能越自動車道

七尾氷見道路 計画の諸元

起点・終点	七尾市八幡～氷見市大野	目的	高規格幹線道路網の形成
延長	28.1km		
道路の区分	1種3級	事業化年度	平成8年度
設計速度	80km/h		

国道41号

猪谷榎原道路 計画の諸元

起点・終点	富山市猪谷～富山市榎原	目的	幹線ネットワークの充実強化 雪や災害に強い道路整備 地域の活性化
延長	7.4km		
道路の区分	3種2級	事業化年度	平成9年度
設計速度	60km/h		
道路幅員	11.0m 2.0+7.0+2.0		

国道160号

氷見改良 計画の諸元

起点・終点	氷見市中波～氷見市宇波	目的	災害に強い道路整備
延長	5.3km		
道路の区分	3種2級	事業化年度	昭和56年度
設計速度	50km/h		
道路幅員	11.5m 3.0+0.75+6.5+1.25 11.5m 1.25+6.5+0.75+3.0		

国道359号

砺波東バイパス 計画の諸元

起点・終点	砺波市榎野野井谷～砺波市高道	目的	幹線ネットワークの充実強化 地域の活性化
延長	6.1km (2/4供用済2.33km)		
道路の区分	3種2級	事業化年度	平成9年度
設計速度	60km/h		
道路幅員	25.0m 3.5+1.5+6.5+2.0+6.5+1.5+3.5 18.0m 3.0+1.25+3.0+6.5+1.25+3.0		



国道8号・入善黒部バイパス(建設中 黒部市から魚津市方面を望む)